

日本語文法学会第22回大会

2021年12月11日

オンライン開催

科研費

KAKENHI

18K00604

[B5] 予稿集 pp.112-119

「アップルパイにリンゴが 大きく入っている」

モノの存在のサマを表す形容詞連用修飾

井本 亮
(福島大学)



アウトライン

節・例文の番号は予稿集と同じです
グレーの囲み内は予稿集の内容の補足・追記です

1. 【問題の所在】はじめに
 - 「アップルパイにリンゴが大きく入っている。」
2. 【視座】 形容詞連用修飾関係の記述の枠組み
 - 弁別的特徴の束による多様な形容詞連用修飾関係の整理
3. 【観察】 [大きく入っている] タイプの観察
 - 動詞テイル形への偏り
4. 【分析】 存在を表す動詞テイル形と [大きく入っている]
 - 動詞テイル形による類義的〈存在〉表現
 - 空間属性・〈場所〉への特徴づけ
5. 【展望と課題】 おわりに
 - 〈場所〉と相対的に認識されるモノのサマ、他
 - 残された課題

1. はじめに：問題の所在

- (1) …やはり具となるリンゴが大きくぎっしり入っていましたね
- (2) 看板にも大きく「住友林業緑化」の文字が入っていました
- (3) a. アップルパイにリンゴが大きく入っている。
b. 看板に「〇〇」の文字が大きく入っている。

□ 「大きく」が動詞「入ってい-る/た」を被修飾成分として連用修飾関係を構成している事例

■ 「アップルパイ（の中）にリンゴ／看板（の表面）に文字がある。そのリンゴ／文字の大きさが大きい」という解釈

▶ 〈モノの存在のサマ〉 解釈・【大きく入っている】タイプ

「敵が自陣に大きく入っている」（入った距離が〈大〉）は異なるタイプ（今回は考察対象外。2節の議論と関係あり）

1. はじめに：問題の所在

- (4) a. *リンゴがアップルパイに入った結果、リンゴが大きくなった
 b. *文字が看板に入った結果、文字が大きくなった
 ▶ 結果構文の結果述語（結果の副詞）のテストフレームに通らない

- (5) a. *壁が白くある。 (宮腰2007: 113 (17a))
 b. *髪が黒くある。 (宮腰2009: 249 (46a))

cf. 「白くはある」
 軽動詞は別

- ▶ 連用形形容詞は存在動詞と連用修飾関係を構成できない

- (6) a. *花子がパーティに美しく出席した (竹沢2001: 251 (31a))
 b. *太郎が酒を熱く／生ぬるく飲んだ (ibid. (31b))

- ▶ 連用形形容詞は事象時間中のモノのサマを表す状態記述述語にならない

形容詞連用修飾でモノの〈存在〉のサマはそもそも表しにくい

- ▶ その中で [大きく入っている] タイプが成立するのはなぜか

2. 形容詞連用修飾関係の記述の枠組み

- 形容詞は原初的に結果述語や動作様態の副詞なのではない
個々の文の文脈において、その都度、修飾関係を構成する
 - 「詳述指定機能」 (井本2020,2021)
 - ◆ 被修飾成分の中から形容詞の語義の上位概念を見出して詳述する
 - ◆ 整合的な詳述指定のために多種多様な関係構成がうまれる
 - ▶ 多種多様な修飾関係の相互の共通点・相違点をとらえる必要がある

(15) 「大きく」の修飾関係に関わる弁別的意味特徴▶ 【表1】

- ① (狭義) 状態変化動詞か ☞変化の意味領域(属性)を固有に定める動詞
- ② 詳述対象が(内)項に属するサマか
- ③ モノのサマを表すか
- ④ 形容詞「大きい」の基本的語義〈空間量〉を表すか
- ⑤ 形容詞の語彙的意味と被修飾成分(動詞)の意味領域が整合するか

2. 形容詞連用修飾関係の記述の枠組み【表1】

事 例 ((8)~(14)各a文のみ)	述語用法、 修飾関係の 解釈・	① 状態変化	② 項のサマ	③ モノのサマ	④ 空間量	⑤ 領域整合
(8a) 風船が大きくふくらむ	結果述語	+	+	+	+	+
(9a) 字を大きく書く	産物	-	+	+	+	+
(10a) ケーキを大きく切る	副産物	+	-	+	+	+
(11a) 髪型が大きく変わる	変化の差	+/-	-	-	-	-
(12a) 壁にポスターを大きく飾る	着点副産物	-	+	+	+	-
(13a) パイにリンゴが大きく入っている	存在	-	+	+	+	-
(14a) 船が大きく揺れる	様態副詞	-	-	-	+	+
* 敵が自陣に大きく入る	事象の量	-	-	-	+	(+)

2. 形容詞連用修飾関係の記述の枠組み

- 結果構文のテストフレームでは「適否」しか判定できない
弁別的特徴の束では事例相互の細かい差異を捉えられる
- [大きく入っている] タイプの修飾関係の特徴
 - ①狭義状態変化ではない②内項の③モノのサマである④空間量を表すが、⑤形容詞と動詞の意味領域が整合しない
 - 形容詞と動詞の意味領域が整合しなくても結果相修飾は可能、ウゴキのサマの様態副詞とも異なる

※ 形容詞連用修飾の記述の目標から

☞ 潜在的な射程を広く取り、その中で成立した事例の成立要因を分析していく

※ 弁別的特徴の束は分析の枠組みに左右されにくい

☞ 「様態副詞」も分析の枠組みによって異なる（命題内副詞／ウゴキのサマ）

※ 意味的特徴の項目は分析対象となる事例によって変更・更新される

☞ 重要なことは分類のラベルに依存しすぎないこと

3. [大きく入っている] タイプの観察

- 国語研日本語ウェブコーパス (NWJC) 「梵天」で用例を収集
 - 「大きく入る」 2,720件 「小さく入る」 888件 「細かく入る」 820件
 - ◆ 「大きく入る」 は1,000件あまりを調査

国語研日本語ウェブコーパス (NWJC) : 2014-4Q data BCCWJ検索へ ログアウト

2021年12月24日を持ちまして「梵天」の公開を終了いたします。

文字列検索 品詞列検索 係り受け検索 現在 1人がログインしています。

係り受け検索 検索履歴

0: 1 ▾

<表層形>

形容詞 ▾

一般 ▾

<品詞3> ▾

<品詞4> ▾

形容詞 ▾

<活用型2> ▾

連用形 ▾

一般 ▾

オオキイ

<語彙素>

1: 0 ▾

<表層形>

動詞 ▾

<品詞2> ▾

<品詞3> ▾

<品詞4> ▾

<活用型1> ▾

<活用型2> ▾

<活用形1> ▾

<活用形2> ▾

ハイル

<語彙素>

[0:1]品詞：形容詞：一般 | 活用型：形容詞 | 活用形：連用形：一般 | 語彙素読み：オオキイ, [\$](文節末)
 [<](追加文節順序(後方)),
 [1]品詞：動詞 | 語彙素読み：ハイル

3. [大きく入っている] タイプの観察

□ 文脈が限定的▶

(16) ポルチーニ茸 (° ㇿ°)ウマー!結構大きく入ってたので…

(17) 豚肉があまりにも小さく入っているので、…

(18) マグロ味は角煮が細かく入っていて、…

料理・
具材

(19) 黄色いパッケージに大きくロゴが入っていて、…

(20) 首の後ろあたりに小さくGongのロゴが入ってます

意匠

(21) 腹ビレは蝶ネクタイ型で、切れ目が大きく入っていて、…

(22) …縁のギザギザ(鋸歯)は小さく細かく入っています

(23) 背中の部分にはギャザーが細かく入っているので大変動きやすく…

部分の
形状

3. [大きく入っている] タイプの観察

- 〈モノの存在のサマ〉 「大きく入っている」はテイル形に偏る
 - 非テイル形 | 大きく {膨らむ / 揺れる / 入る}
 - テイル形 | 大きく {膨らんでいる / 揺れている / 入っている}

	膨らむ	揺れる	入る	合計
非テイル形	861 (758.61) ▲	842 (758.61) ▲	496 (681.77) ▽	2,199
テイル形	146 (248.39) ▽	165 (248.39) ▽	409 (223.23) ▲	720
合計	1,007	1,007	905	2,919

$$\chi^2(2) = 298.406, p < .01 \text{ (Cramer's } V = 0.320)$$

実測値との残差分析：▲は有意に多い、▽は有意に少ない ($p < .05$)

※js-STAR (https://www.kisnet.or.jp/nappa/software/star/freq/chisq_ixj.htm, 2021/12/11)

- 〈モノの存在のサマ〉 解釈の用例は動詞テイル形に偏っている
 - ただし、非テイル形でも成立はする
 - ◆ 背中に大きく68のナンバリングが入る (注12)

4. 存在を表す動詞テイル形と [大きく入っている]

4.1. 「知覚されない〈過程〉」の言語化による〈存在〉表現

- 結果相という事象の局面は眼前の状態として観察される
(寺村1984、定延2006、庵2021)
- 動詞テイル形と「ある／いる」は類義的な表現と位置付けられる
(陳2009、渡辺2020など)

□ 「知覚されない〈過程〉の言語化」 (佐藤2017)

- (28) a. 客がいる | 単純状態型 | 知覚された状態を単純な1つの
静止像としてとらえる
- b. 客が来ている | 複合型 | 知覚された状態を事態の推移過程の
1つの断面としてとらえる
- c. 客が来た | 単純過程型 | 知覚された状態に至る
推移過程そのものを言語化する

- (29) 「眼前の状態を、ある過去の事件の結果の痕跡であると解釈する思考が
介在している」 (寺村1984：136)

4.1. 「知覚されない〈過程〉」の言語化による〈存在〉表現

□ 渡辺（2020）動詞テイル形と「ある」の使い分け条件

(27) a. ?? 路上に財布がある。

b. 路上に財布が落ちている。 (渡辺2020: 88 (2))

□ 構成概念 [± 移動過程] [± 一体性] ([± 意志性])

(30) a. 髪の毛におがくずが{ついている／??ある}。 [＋移動過程／＋一体性]

b. スキ焼きに青酸毒が{入っている／*ある}。 [＋移動過程／＋一体性]

c. 富山のラーメンにはかまぼこが{入っている／*ある}。 [＋移動過程／＋一体性]

(渡辺2020: 97-98)

(31) a. アップルパイにリンゴが大きく入っている。

■ [＋移動過程／＋一体性]

b. 看板に「〇〇」の文字が大きく入っている。

■ [＋移動過程／＋一体性]

4.1. 「知覚されない〈過程〉」の言語化による〈存在〉表現

□ [大きく入っている] タイプの〈モノの存在のサマ〉の背景

(32) [大きく入っている] タイプの〈モノの存在のサマ〉解釈は、
被修飾成分の動詞テイル形が知覚されない〈過程〉を言語化して
〈存在〉を表すことに起因する

- 形容詞連用修飾の一般的制約（①存在動詞と連用修飾関係を構成しない
②状態記述述語にならない☞1節(5)(6)）からは逸脱していない

□ ウゴキのサマを表すオノマトペとの共起

- (33) a. 野菜がゴロゴロ大きく入ってて、なんかスープカレー食べてるみたいでした
b. 生クリームの中に、栗のシロップ煮が大きくゴロンと入ってます
c. チーズケーキもごろっと大きく入っていて食べ応えあったー

- 知覚されない〈過程〉＝ウゴキのサマ〈回転〉の推論が関わることの傍証

4.2. 空間属性への関心：形容詞連用修飾による〈場所〉の特徴づけ

- [大きく入っている] タイプが〈モノの存在のサマ〉を表す背景には複合型の〈存在〉表現の特性としての「空間らし(くな)さ」がある

(34) a. [グループ学習をしたいので、空いていそうな教室のドアをノックした]
誰か{*入りました/*入っています/います}か。

b. [用を足したいので、トイレのドアをノックした]
誰か{*入りました/入ってます/??います}か。

c. [パンダの着ぐるみに向かって話しかける]
誰か{*入りました/入ってます/*います}か (佐藤2017: 14 (22)~(24))

- 「↑教室>トイレ>着ぐるみ↓」▶ 〈空間らしさ〉が下がるほど、「いる」は使いにくくなる

(35) 存在文のスキーマ (佐藤2017: 16 (32))

存在文のスキーマから外れて
〈場所〉を背景化しにくくなるため

〈場所〉ニ	〈対象〉ガ	アル・イル
ground	figure	

4.2. 空間属性への関心：形容詞連用修飾による〈場所〉の特徴づけ

□ 「入っている」が複合型〈存在〉表現であることとの関連

① 形容詞連用成分が表す属性の知覚が視覚に偏る

- (36) a. アップルパイにリンゴが{大きく／小さく／丸く／??重く／??甘く／??冷たく}入っている。
- b. 背中にロゴマークが{大きく／小さく／丸く／??重く／??安く}入っている。

② 〈場所〉として典型性の高い空間と共起しにくい

- (37) a. 電話ボックスに力士が(?大きく)入っている。
- b. 馬小屋の中に象が(?大きく)入っている。
- c. 駐車禁止エリアにキャンピングカーが(?大きく)入っている。

一体性は
[－]

□ コーパス用例での〈場所〉は「アップルパイ、看板、料理、パッケージ、腹ビレ、葉の表面、衣服」などモノ（の中や表面）（☞3節）

- 〈モノに見出された空間（空間として認識されたモノ）〉（cf.久島2001）

4.2. 空間属性への関心：形容詞連用修飾による〈場所〉の特徴づけ

□ 被修飾成分（動詞・文）

- 知覚されない〈過程〉を言語化して〈存在〉を表す動詞テイル形
- 二格句に〈場所〉と認識されるモノ名詞が現れた空間性が非典型的な文
- 〈対象〉ガ格句のモノが〈場所〉二格句モノを特徴づける文 cf.(35)

[〈場所モノ〉ニ〈対象モノ〉が入ッテイル] 〈場所・対象：+一体性〉

□ 形容詞連用修飾成分

- 〈対象モノ〉が〈場所モノ〉を特徴づけるという文の特性を基盤に、〈対象モノ〉のサマを連用修飾で詳述指定することが文全体の事象描写に寄与することになり、連用修飾関係の本分を果たすことになる

今回の事例では〈場所モノ〉と〔+一体性〕の特徴を持った〈対象モノ〉を詳述指定することで、それが可能になる

5. おわりに：今後の展望と課題

□ (39) [大きく入っている] タイプの特徴

a. 修飾関係の特徴

- ① 被修飾成分が狭義状態変化動詞ではない
- ② (内)項のサマを表す
- ③ モノのサマを表す
- ④ 空間量を表す
- ⑤ 形容詞の語義（空間量）と動詞の変化の意味領域（位置変化）が整合しない

b. 成立する文の特徴

- ① 動詞テイル形が知覚されない過程を言語化して〈存在〉を表す
- ② 二格句に空間としての典型性の低い〈場所〉が現れる
- ③ 形容詞連用修飾成分は〈場所〉を特徴づける〈対象〉のモノのサマを詳述することで、事象の描写に寄与する

[〈場所モノ〉ニ〈対象モノ〉が入ッテイル] 〈場所・対象：＋一体性〉

5. おわりに：今後の展望と課題

□ 形容詞連用修飾の類例への展開

① 〈場所との割合・相対的な大きさ〉 (川野2003, 宮腰2009)

(40) a. 壁に写真を大きく飾った。 (川野2003: 40 (1))

b. 肉に小麦粉を白くまぶした。 (川野2003: 44 (15))

(41) 名刺の裏に科研費シールを大きく貼った

- 位置変化の副産物解釈タイプのサマ
〈その空間に占める割合として〈大〉〉

□ **〈場所〉との相対化なモノのサマ**を詳述指定することが
〈場所〉「壁／肉／名刺の裏」の特徴づけとして機能する

事象における〈場所〉と相対化されて認識されるモノのサマとすれば
連用修飾関係で詳述指定することは奇妙ではない

- cf. (7) 山に雪が白く積もった。☞二格句の“結果状態”が論点になる事例

5. おわりに：今後の展望と課題

② いわゆる「形容詞移動（奥津1983, 矢澤1993）」との関連

(42) a. アップルパイにリンゴが大きく入っている。

b. アップルパイに大きいリンゴが入っている。

■ 連体修飾を受ける名詞は事象または事象の産物（矢澤1993）

■ 〈空間量 = 〈大〉〉は事象のなかで知覚されるサマ

③ 知覚されない〈過程〉に関して

▶ ウゴキのサマを表す形容詞連用修飾成分「激しく」による
〈モノの存在のサマ〉解釈

(43) a. 右主翼ですが、予想以上に激しく壊れていました

b. …シャツが背中側の左の肩から脇腹にかけて激しく破れていることに
気づき、…

■ 知覚されない〈過程〉の推論がある（☞4.1.(33)）

5. おわりに：今後の展望と課題

□ 今後さらに精査・追求すべきその他の課題

① 用例の精査、同タイプの動詞の調査

- ◆ 「玄関に荷物が(?大きく)届いている。」☞ [＋一体性] の必須性
- ◆ 「Tシャツの背中にロゴが入った。」☞ 非テイル形の事態がアクチュアルでない

② 〈場所〉ニ格のモノを特徴づけるガ格モノ、それを詳述する連用修飾成分

- ◆ 被修飾成分の動詞述語文の特性について☞(40)(41)

※ 〈場所〉ニ格句を特徴づけるガ格句という特徴と「所有文」との類似性
(私信による指摘)

☞ 〈場所〉ニ格句が無生物、両者の関係が明確に空間的、ガ格名詞が
変項名詞句でない、などは所有文の特徴から外れる

③ テイル形の〈観察〉と視覚による属性知覚そして事象の空間性との関連

- ◆ 4.2節 (36)

本発表の概要

※参照文献は予稿集をご参照ください

- I. 【視座】 一成分・多解釈の視座から多様な形容詞連用修飾を射程に収め
弁別的特徴の束で捉えるアプローチ
 - “結果／様態”の二分法に拘らず、多様な修飾関係を広く記述する
- II. 【観察】 「大きく入っている」で〈モノの存在のサマ〉を表す修飾関係
 - このタイプは被修飾成分がテイル形に偏る
 - 被修飾成分動詞テイル形が知覚されない〈過程〉によって〈存在〉を表す
- III. 【考察】 [大きく入っている] タイプの特徴
 - 二格句に空間としての非典型的な〈場所モノ〉が現れる
 - 〈場所モノ〉を特徴づけるモノのサマを詳述して文の事象描写に寄与する
 - [〈場所モノ〉ニ・〈対象モノ〉ガ・入ッテイル] 〈場所・対象：＋一体性〉
- IV. 【展望と課題】 「壁に写真を大きく飾った」
 - 【展望】 〈場所〉二格句との相対的なサマ👉連用修飾の機能の理解へ
 - 【課題】 “〈場所〉二格句を特徴づける”とはどういうことか

参考) 井本既発表論文👉



Appendix.

- 〈場所〉ニ格のモノを特徴づける動詞述語文の特性は？
- 〈場所〉ニ格句を特徴づけるガ格句という特徴と「所有文」の可能性
(私信による指摘)
 - → 〈場所〉ニ格句が無生物、両者の関係が明確に空間的、ガ格名詞が変項名詞句でない、など所有文的でない特徴もある
(cf. 岸本2005、西山2021)
 - 所有文の特徴を持っているとしても、形容詞連用修飾の特性としてどのような分析上の含意を持つか考える必要がある
(cf. 状態事象への連用修飾の可能性など)

Appendix.

- 「被修飾成分」とは何を指しているのか？
- 本発表での「被修飾成分」の用語法は未整理
 - 被修飾成分は統語的な概念、動詞または動詞句と考えられる
 - 意味的（詳述対象のありかの解釈）に考えると単純に動詞とは言い切れないが、動詞句として十分かどうか
 - ◆ 船が大きく揺れる。 [詳述対象のありか＝動詞]
 - ◆ 風船が大きくふくらむ。 [詳述対象のありか＝動詞句]
 - ◆ ケーキを大きく切る。 [詳述対象のありか＝動詞句？]
 - 被修飾成分は統語的概念であって、意味＝詳述対象のありかの解釈とは独立しているのなら純粹に統語論的観点から妥当なものでよい（動詞句？）
 - 現象的には詳述対象は節述語が表す事象全体を範囲として、その中から整合的なものが選ばれるので、統語／意味のミスマッチがありそう

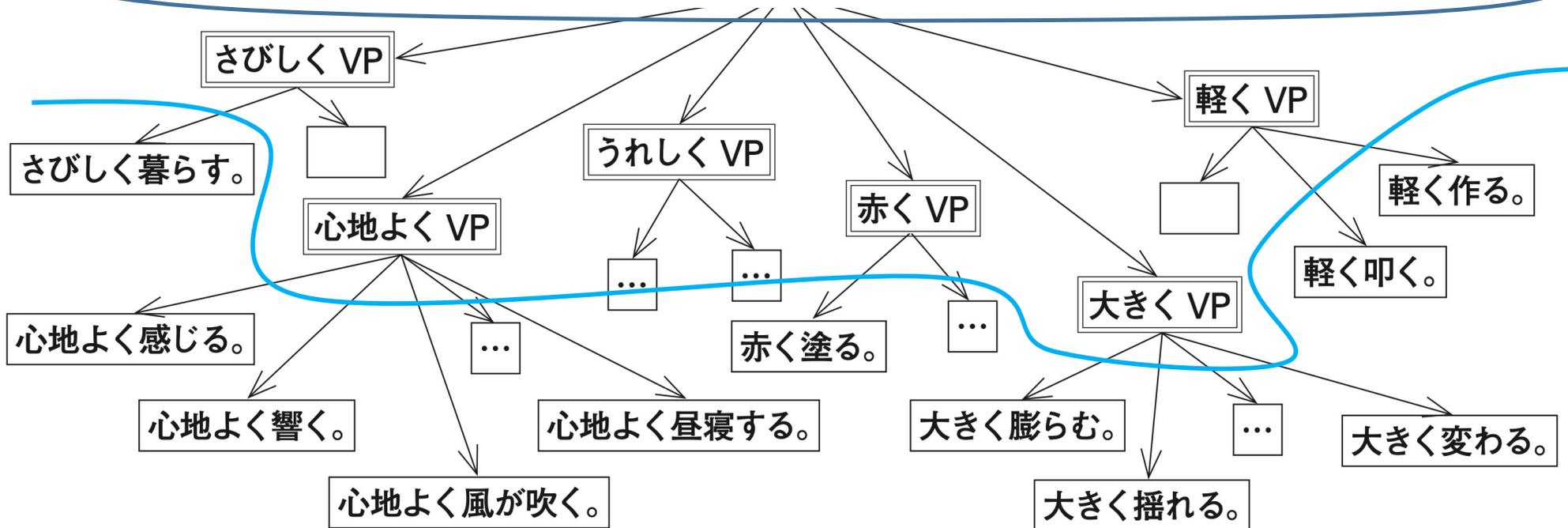
Appendix.

□ 井本（2021）連用形形容詞詳述指定構文

コンストラクション
のスキーマ

統語 [連用形形容詞 β ... 動詞句 a]節

意味 《範疇的意味 $動詞句a$ 》 = 〈語彙概念 $連用形形容詞\beta$ 〉



スキーマの構成要素が連用形形容詞ではなく、
連用形 [[形容詞 β] -ク...] である可能性もある

Appendix.

□ 井本 (2020) の素性の束

表1 「大きく V」 の読みを構成する素性の束

タイプ	例	結果相	変化主	空間量	モノ
結果構文読み	風船が大きくふくらむ (空間量変化動詞)	+	+	+	+
産物読み	字を大きく書く (産出動詞)	+	(+)	+	+
副産物読み	ケーキを大きく切る (一体性変化動詞)	+		+	+
着点副産物 読み	花瓶に花を大きく生ける (位置変化動詞)	+		(+)	+
範囲読み	靴が雨で大きく濡れる。 (状態変化動詞)	+		+	
差分読み	髪型が大きく変わる (範疇未指定変化動詞)	+			
開閉読み	窓を大きく開ける (開閉動詞)	(+)		+	
発散読み	着信音が大きく鳴る (発散動詞)		+	+	+
関係読み	判決に大きく影響する (関係・影響動詞)				
付帯状態読み	小さく運んで大きく使う				+
運動読み	船が大きく揺れる (運動様態動詞)			+	

Appendix.

- 本発表で想定する事象の体系

